

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 13 日

事務事業名		道路管理事務業務				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助 単独		事務事業No. 050302000964	
総合計画の施策名		0503 道路網の整備				主要事業		所属課 060101 建設課	
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり				市長マニフェスト			
施策名		03 道路網の整備				未来PJ事業		グループ 維持管理G	
手段名		02 ②市道の危険箇所の整備				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	08	01	01	00	00	単年度繰返し (年度~)		
法令根拠						→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
道路法									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
道路は地域の社会・経済活動と住民の生活を支える基盤であり、複雑化・多様化する社会情勢において、市民が安全で快適な暮らしを確保していくために、多様化・高度化する道路使用の要望に対し、個々適切な対応を行うことが求められている。道路法及びその他法令に基づき、道路が適切に使用され、円滑な通行が確保されるよう業務を遂行している。	<ul style="list-style-type: none"> 市道境界確認 用途廃止協議事務 道路法第24条事務 特殊車両の通行許可関係及び道路情報便覧事務 市道認定、廃止事務 陳情、要望確認事務 道路苦情対応 道路パトロール 市道に関する協議 道路法確認対応 交付税事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・道路占用許可、道路掘削許可、道路工事施工承認等処理 ・特殊車両については、災害等により通行許可を行い、適切な通行を行わせる。 ・道路工事または通行上危険である場合、通行制限を行う。	市道境界確認申請件数	件	103.00	120.00	120.00	0.00	0.00
	特殊車両通行許可協議申請件数	件	99.00	70.00	70.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
認定市道	認定市道本数	本	6,411.00	6,413.00	6,413.00	6,413.00	0.00
	認定市道延長	km	1,502.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
認定市道の適正な管理	市道境界確認件数	件	103.00	120.00	120.00	120.00	0.00
	特殊車輛通行許可承認件数	件	99.00	70.00	70.00	70.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	期間限定総投入量
量	事業費	国庫支出金	0	0	0			0
		県支出金	0	0	0			0
		地方債	0	0	0			0
		使用料・手数料	0	0	0			0
		その他	0	0	0			0
		一般財源	0	0	0			0
	事業費計 (A)	0	0	0			0	
人件費	正規職員従事人数	人	8.00人	5.00人	5.00人			
	述べ業務時間	時間	4,129.00	4,000.00	4,000.00			
	人件費計 (B)	千円	12,077	11,700	11,700			
トータルコスト (A)+(B)			千円	12,077	11,700	11,700		

29年度事業費 実績 (千円)

30年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳								
		合計		0				合計

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容

31年度の事業内容

32年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	道路管理事務業務	事務事業No.	50302000964	所属課	建設課
-------	----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

一般交通の安全確保と沿道環境の維持を目的とし道路管理者が行う維持管理業務として開始された。財政事情の悪化により、全ての要望への対応は困難であり、今後、計画的な改築や修繕を行う場合に緊急度や重要度を加味した選択が必要となる。平成23年の震災の影響により、以前に比べ道路補修、改修の陳情・要望件数が増えている。家の建て替えも急激に増加しているため、市道境界確認申請、道路占用許可申請も多くなっている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

各地区の区長から、補修・改修の陳情・要望が絶えない。道路は地域の社会・経済活動と住民の生活を支える基盤であり、複雑化・多様化する社会情勢において、市民が安全で快適な暮らしを確保していくために、多様化・高度化する道路使用の要望に対し、個々適切な対応を行うことが求められている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	道路境界確認や道路法24条申請業務などの業務を行う事によって、市道の適切な管理が図れるため。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市道の道路管理者として、道路を適切に管理するため行わなければならない。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	今までも申請に対して厳正に審査を行って、業務を処理しているため、向上の余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市道の適切な管理が図れなくなるため、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業が無い。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	当該業務に要する職員の人件費のみであり、業務量的には適切である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	不特定多数の方が利用する公共施設であるため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																								
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下	×	×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○	×																					
	維持																								
	低下	×	×	×																					
(6) 事務事業優先度評価結果																									
成果優先度評価結果																									
コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>